

2022年度少年部大会規定(追記版 v4)

■ 新型コロナウイルス感染防止策について

(1)大会会場での準備について (会場運営チーム)

- ・消毒液、ハンドソープ、ビニール手袋を用意する。
- ・手洗い場所及び各チームの荷物置き場を指定する。
- ・2面を使用する大会においては、2面使用者が交錯しないように動線を分離する。
- ・本部内及びチームミーティング場所、観戦場所等々のソーシャルディスタンスを確保する。

(2)大会参加チーム・運営チームの責任と参加条件について

- ・関係者から感染者が出た場合、大会参加チームは必ず少年部役員に報告する。
- ・大会期間中に関係者に感染者が生じた場合、その後の試合までに隔離期間が終了しない場合は棄権とする。(基本的には当該チームのために大会日程の延期等を行わない。)
- ※少年部役員と同一会場のチーム間で状況確認の上、決定する。(保健所の助言を受ける)
- ・チーム責任として、平常時の選手の体温と試合前日・当日の体温の比較、選手を含むチーム関係者の名簿を作成し、試合前日、当日の体温を記載する。
- また、健康状態チェック欄の9項目すべてについて、問題ない事の確認を行う。

注意：大会当日の前日もしくは、当日に発熱(37.5度以上)がある場合、当日の参加は不可。

対象：選手・スタッフ・観戦者 → 名簿：別紙 少年部来場者名簿。

- ・会場運営チームへ 少年部来場者名簿を提出する。
- ・会場運営チームは、当該大会終了後(1ヵ月間は、チームで上記資料を保管しておく)
- 少年部役員から名簿の確認を求められた場合、提示できるようにしておく。

(3)試合に関連して感染防止の為の対応

- ・**観戦者(保護者)は選手1名に対して1名まで**の同居家族のみとする。
- ※(対象は保護者のみで小学生以下の子供は不可)とする
- ・会場到着後は、指定された場所に荷物を置く。手洗いを行う。
- ・試合時にベンチでのコーチは密にならないようにしマスクを着用する。
- 但し 選手はマスクの着用は不要とする。
- ・**ベンチの指導者の人数は3名以内とする。**
- ・試合開始前の挨拶や試合終了後のベンチ前での挨拶は無とする。
- ・消毒液、ハンドソープを持参する。
- ・試合終了後の各チーム関係者は必ず手洗いを行う。
- ・観戦者は、必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。(制限緩和に伴い改めて周知徹底すること)
- ・試合時にベンチでのコーチは密にならないようにし、マスクを着用する。(指導時マスクを外さない・ずらさない)

ベンチのコーチ陣がマスク未着用やマスクをずらす行為があり、本部または役員から着用の指示に従わなかった場合はベンチからの退場を指示する場合がある。

※会場に入場・観戦している人は、試合時やグラウンドでの練習時もマスク着用を必須とする。

(但し 選手はマスクの着用は不要とする。)

・試合開始時、ベンチ前やその他コート内での円陣は自粛すること。

(4) 無観客での大会実施について

・感染増加などの状況等により役員が必要と判断した場合は、大会を無観客で実施する。

・上記の場合、エントリー1チーム毎に

スタッフ：3名（指導者・審判および選手の世話をする者）

撮影者：1名（web配信またはビデオ撮影する者）

送迎者：駐車台数×1名（運転者）

の帯同（入場）者を認める。

※用具提供の依頼があり車での運搬がある場合は上記送迎車にプラス1台（1名）を追加する。